

(1) 学部経営の基本

ア 学部目標 「仲間と協力して 進んで活動に取り組む生徒」

イ 目指す姿

- ・自分のやるべきことが分かり、自ら考え、行動する姿
- ・自分の役割に取り組み、友達と一緒に活動する姿

ウ 学部経営方針

- ・目標に向かって進んで活動する意欲や態度を育てる。【いきいき(主体)】
- ・適切な方法で思いを伝えたり、受け入れたりする力を育てる。【なかよく(かかわり)】
- ・運動の習慣をつけたり余暇活動の幅を広げたりして、心身の健康の維持・増進を図る。
【すこやか(健康)】

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
授業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	・なかよく学び合う姿を目指した授業作り。予想されたあらわれや手立てを共有し、授業改善、評価し、PDCA サイクルで授業作りを行う。 ・授業導入を工夫したり、役割や所属感を明確化したりして、なかよく学び合うことで生徒がやりがいのある授業計画、実践を行う。	・生徒は、それぞれにやりがいや手ごたえを感じて登校したり、授業に取り組んだりしている。
	イ 学びが社会参加につながる教育課程の再編	・統一様式の研修を通して、個々の目標を明確にする。 ・生徒の1年後、3年後の姿を見据え、将来につながる年間指導計画の作成を行う。	・教職員は個々の目標設定理由を明確に説明できる。 ・教職員は生徒の進路や将来の生活を見据えた支援を考え、学習を行っている。
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	・教職員の得意分野や経験を活かしたり、他の教職員と共有したりして専門性の向上を図る。	・教職員は研修を通して得た知識や技術を活かした支援をしている。
連携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	・キャリア・パスポートを用いて、目標設定や、振り返りの時間を確保し、活用する機会を設ける。 ・キャリア学習の中で自分のことや進路、職業について学習する時間を設定。 ・面談や指導連絡会で本人、保護者、学園と将来の姿や支援を共有する。	・生徒が、自分の学習を振り返って記録する機会が継続できている。 ・保護者(学園)とも共有できている。
	イ 地域の特色を生かした交流活動の推進	・五校交流や交流籍との交流では、互いの学習や学校生活についての情報交換、学習機会の共有を図る。(必要に応じて ZOOM の活用) ・地域の人、もの、ことなどの地域資源を活かした学習機会を増やす。	・生徒は交流相手のことに興味を持ち、知ろうとしたり、一緒に学習したりしている。 ・教職員は地域資源を活用した学習機会を増やすために地域資源の開拓をしている。

	ウ 生活に広がるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	・体育の授業や特別活動の時間に生涯スポーツの紹介や実践する時間を設定。 ・本校への展示を含む作品展への参加。 ・週3回、朝トレーニングの実施。 ・朝読書の時間を設定。	・一人一作品、作品展への応募(校内も可)ができている。 ・一人一スポーツ、一冊以上、好きなものがある。
安心	ア 学校安全計画の更新と自他を大切にする心の育成	・避難訓練の事前、事後指導を行い、まずは、自分の命は自分で守る知識を伝え、実践を繰り返す。	・生徒は自分の命を守るための行動がとれている。
	イ 事故や大規模災害に備えた危機管理体制の強化	・校外学習前に危険予知トレーニングを行い、危機管理体制を整える。 ・定期的に教室や廊下に危険物はないか、確認をする。	・教職員は、生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている。
	ウ 守るために学ぶ教職員の育成	・週1回学部会の中で、人権について話し合う機会を設定する。	・教職員は人権感覚を磨き、生徒の見本となる行動がとれている。